

令和6年5月30日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和6年 5月 24日（月）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2

【行政からの伝達事項】

- ・令和6年度より法改正があり何かあれば連絡ください。

【入居者状況】

入居者8名（女性 8名）

平均年齢 90歳 平均介護度 2.6（1～5）

退去～2名 入居～1名 入院～2名

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 新聞折り・塗り絵・壁画作り・体操・下肢訓練
- ・ 季節行事～桜ドライブ（美都・市内等）・玉ねぎ収穫
- ・ ワッフル作り・どら焼き作り・たこ焼き作り

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 5件（離接～1件・転倒～3件・負傷～1件）
- ・ ヒヤリハット 2件（転倒の危険性・離接に繋がる）

【職員研修】

- ・ 接遇研修～職員 1 名参加

【災害訓練】

- ・ 地震想定した災害訓練実施
- ・ 地震想定した災害 BPC 研修・災害 BPC 訓練実施

【その他】

○転倒事故について

・ 歩行状態が不安定な方に対し、歩行器やシルバーカーを準備し使用を試みたが、職員が側でついている時は使用が可能であるが、居室等一人で過ごされる時は歩行器が置いてあっても使用する必要性が理解出来ない為、常時使用する事が出来なかった。

又シルバーカーについても操作と必要性が理解出来ない為、一人で使用は不可だった。

・ 夜間や日中、居室で過ごされる時はセンサーを設置し、トイレ等に行かれる時は職員が見守りや介助し転倒しないように気をつけている。

○災害訓練について

・ 地震を想定した訓練を実施した。2 階があり地震時はエレベーター使用が出来ない為、階段を使用し入居者の方を 1 階に降りてもらった訓練実施した。（訓練時は職員が入居者となり実施した）

担架がない為、座った状態で職員が介助し 1 段 1 段降りてもらった。全介助の方はシーツを担架代わりにし、座った状態で職員 2 人介助で降ろしたが、階段が狭い為介助時に転落しないようゆっくり降ろす必要がある。

・ 当ホームは木造にて、地震は倒壊の恐れがあり早目の避難が必要である為、避難する時の手順や避難した後の対応、特に排泄についてどのようにするか職員で考え訓練を行った。



(参加者の方より)

・ 消防署が移転し、その周辺に広い土地があり、避難場所としてお願いしているが、益田市の土地ではない為（県の土地）益田市の避難所となると難しい面があるとのこと。

・ 今のところふれあい会館が避難場所となるが、ふれあい会館では住民が一斉に集まったとしても入りきれない。近くに小中学校もない為避難場所について課題でもある。

○地域行事について

- 6月8日～学習センターにて土砂災害研修がある
- 6月16日～ふれあい健康教室開催
栄養士さんの講演がある